《紅葉山峡》 油彩 F120 2010年／第42回日展出品作

寺坂公雄個展
―山麓、風と光の交響―

Tadao Terasaka
Recent Works
:Symphony of the wind and the lights
echoing at the foothill

2022年 7/2（土）－9/11（日）
会期中無休

開館時間　9:00 ～ 17:00
（最終入館16:30）

入館料　一般 / 高校生以上
510円（460円）

小中学生
250円（200円）

※（）内は20名以上の団体料金
諏訪6市町村の小中学生無料

主　催：八ヶ岳美術館、原村
原村教育委員会

協　賛：スワテック建設株式会社
諏訪信用金庫
たてしな自由農園

八ヶ岳美術館
原村歴史民俗資料館
〒391-0115 長野県諏訪郡原村17217-1611
TEL/FAX：0266-74-2701
E-mail：info@yatsubi.com
https://yatsubi.com

寺坂公雄個展 ―山麓、風と光の交響―

Tadao Terasaka Recent Works　2022 7.2 土 – 9.11 日

会期中無休

光風会や日展など日本の代表的な美術団体で指導者として活躍する洋画家 寺坂公雄――彼が日本の四季へと目を向け、豊かに彩られる自然の美しさを子どもたちへ伝えたいという想いから発表してきたのが、ここ八ヶ岳山麓で描いた風景絵画でした。

寺坂公雄は、八ヶ岳の自然に惹かれ、1975 年より現在まで山梨県北杜市にアトリエを構えて制作しています。1988 年から山梨大学でも教授を務めるなど、この八ヶ岳山麓の芸術文化にも尽力してきました。近作では《山麓萌える》（2021 年）の樹間に匂い立つ白樺の緑や《紅葉山狭》（2010年）の凍てついた山道に静かに佇む紅葉の朱など、細やかな筆致で描かれた鮮やかな色彩が響きあう印象的な画面構成で、四季折々の山麓の自然を大作に描いています。

本展では、八ヶ岳山麓で描かれた近作とあわせ、ここ原村の森で描かれた小作品をご紹介いたします。美術館の外には絵画のなかに描かれた世界が広がり、野の草花が息づく、自然豊かな八ヶ岳山麓とともにそこで生まれた芸術の魅力をぜひお楽しみください。

Event

寺坂公雄先生の絵画を鑑賞しながら制作のお話を伺います。

1. オープニング記念ギャラリートーク
   講　師：寺坂公雄（本展出品作家）
   日　時：7 月 2 日（土）13:30 ～ 15:00
2. 「八ヶ岳山麓を描く」ギャラリートーク
   講　師：寺坂公雄（本展出品作家）
   日　時：8 月 3 日（水）13:30 ～ 15:00

※各回とも要予約・入館料別途

八ヶ岳山麓の白樺林を描く

《ハーブスタンドの秋》S100　2018年／改組新第5回日展出品作

寺坂公雄（てらさか ただお）

1933 年広島県生まれ。愛媛大学在学中の 1954 年「画室の隅」光風会展、同年「室内」が日展に初入選。教鞭のかたわら日展光風会展で活躍。1988 年から 1999 年まで山梨大学で教授。2001 年「デルフォイへの道」で日展文部科学大臣賞受賞。2005 年「アクロポリスへの道」で日本芸術院賞受賞。日本藝術院会員、光風会顧問、日展顧問、SOMPO 美術財団理事、山梨大学名誉教授。2020 年旭日中綬章受章。

《山麓萌える》S100　2021年／第107回光風会展出品作

《高原の花摘み》S 4　2021年

《宿り木のある白樺林》F 10

八ヶ岳美術館 原村歴史民俗資料館

〒391-0115　長野県諏訪郡原村17217-1611　TEL/FAX　0266-74-2701
E-mail: info@yatsubi.com　URL: https://yatsubi.com

■ご利用案内
開館時間｜9:00～17:00（最終入館は16:30まで）
休 館 日｜年末年始、臨時休館を除き年中無休
入 館 料｜一般（高校生以上）:510円（460円）、小中学生:250円（200円）
※（）内は20名以上の団体料金
　諏訪6市町村の小中学生は図書館利用カード、学生証などの提示により　無料で入館できます

八ヶ岳美術館の建物は、文化勲章受章者・村野藤吾の設計によるもので、日本建築家協会25年賞を受賞しました。曲線を多用したドーム型で天井はレースカーテンの絞り吊りになっています。落ち着いたやわらかな明かりのなかで、作品をゆったりとご覧いただけます

■常設展
美 術 作 品：清水多嘉示（彫刻・絵画）、津金崔仙（書）
考古学資料：国指定阿久遺跡をはじめ、村内の遺跡から出土した縄文土器・石器を展示